

大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）【概要版】

総合戦略の位置づけ

- ・趣 旨 : まち・ひと・しごと創生法に基づき、策定
大阪市人口ビジョンを踏まえ、施策の目標・基本的方向と具体的な施策をとりまとめるもの
- ・計画の対象期間 : 平成27年度から平成31年度までの5年間

認識 ・人口減少、高齢化の更なる進展は、社会全体の活力低下を招くことが懸念される、先延ばしのできない大きな課題

展望 ・出生率が大幅に増加し、現状の人口流入規模が維持できれば、人口の減少に歯止めがかかり、大阪の活力を維持していくことが可能となる。
・人口減少に対する特效薬はないが、中・長期的な視点から、適切な対策を速やかに講じることが必要

総合戦略の方向性

東西二極の一極として国内外からヒト・モノ・カネ・情報が集まる魅力と活力あふれる大阪の実現

現役世代、とりわけ若者・女性の市内居住・活躍の促進と出生率の増加

誰もが健康でいきいきと暮らし続けられる地域づくり

市民・企業・NPOなど多様な活動主体との連携・分担



施策の柱立て

基本目標① 魅力と活力あふれる大阪をつくる

- 大阪経済の活性化
- 都市魅力の創造・発信

数値目標（例）

経済成長率、来阪外国人数、東京圏への転出超過人口

基本目標② 若者・女性が活躍できる社会をつくる

- 就労支援と雇用の促進
- 女性の活躍促進
- 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する
仕組みの充実
- 子どもや保護者の期待に応える学校づくり

数値目標（例）

合計特殊出生率、待機児童数、若者の就業率、女性の就業率

基本目標③ 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる

- 市民生活の安全・安心の確保
- 地域の特性に即した施策の展開

数値目標（例）

健康寿命、街頭犯罪発生件数